

# 伯利西爾時報

發行所 伯利西爾時報社  
社長 黑石清作  
編輯 郵函三一四八  
科講牛ヶ年百二十  
一部

LIVRARIA-MIYAMOTO  
R. CARDEAL ARCOVERDE  
PINHEIROS - S. PAULO  
宮本書店

月三十日で總ての事務を中止した汎米聯説議會の事務一切を繼續する聯説議會が新に組織されたと

「華府五日 U.P.」去る九月三十日で總ての事務を中止した汎米聯説議會の事務一切を繼續する聯説議會が新に組織されたと

バント、アーヴィング、エラム、ケラード、ダニエル、ベネズエラ

の十五ヶ國である

マーフ、ハイチ、ホンジュ

ラ・ドミニカ、エクアドー

ル、サルヴァドー、ガリテ

ダ、ペルー、ベネズエラ

の五ヶ國である

「之」欲しうは無いか

「だめだ」と、覆面の曲

者は瘦我慢へ叫んだ。

「そんな手品」俺達を欺ま

さうとも思はれぬ。彼は

悔我慢へ叫んだ。

「之」欲しうは無いか

「だめだ」と、覆面の曲

者は瘦我慢へ叫んだ。

「之」欲しうは無いか

## 農業

と経済

## 珈琲 ブロッカ 横滅の福音

## = 藥品は政府の専賣 =

## 一五% 支拂殘額はブラー一ヶ年

= 現在の農業 =

= その原因の最大頭目は技術 =

= より寧ろ撲滅費用捻出 =

= 最近ノロカバ =

= バウイスター =

= ブロッカ =

= ブラック =

= ブラード =

= ブラーノ =

## 往年の棉化時代再現へ

増大した各地の植付面積  
今度は量より質に重點  
堂々貫るを示す聖州棉の前進

聖州に於ける棉の販付期は七〇〇となり、今年の植付面積に對する豪想もほつと行はれる様になつたが、アーブルデント、「リーフア、アサツバ、及びビードラ」の各方面から集められた情報で統合すれば昨年に比較して二ヶ所では三〇%の増大が推測されている。

一体昨年はどれ位の植種が政府に依り配給されたかと云うと全部で四五三、〇四二俵あり、一昨年(一九四六年度)の六〇八、一四一俵に比べれば實に一五五、〇九九俵(約二五・五%)の減少を示していた。處が本年度は七〇〇、〇〇〇俵に近い棉種が現在既に配布された由であるから、この方面から見ても今年は昨年より遙かに廣い面積が拡張に使用されている事が肯づかれる。尤も中には後近政府により優れた棉花聖州の名に恥じない良好なサブが得られ、であろう事は確実である。

爲め、配給棉種の増大は必ずしも植付面積の擴大を意味しない、黔くとも配給棉種供給の擴大を意味しない、黔くとも配給棉種供給の擴大を考慮しないと向きも大きい。

乍ら棉花市場、將來が比較的樂觀視されている今日政府としてもその増産に特別關心を有し、万難を排し、最も昔日の棉花時代再現を期しているのであるが、棉作業が逐年再興の一路を辿り、今年度の生産高も植付面積の如何を問はず昨年度より遙かに優れた棉花聖州の名に恥じない良好なサブが得られる。あらうことは確実である。

## 今度は伯製「米若」ら浪曲聯唱を結成

ア市で第一回全伯大會開催

浪曲聯唱を結成

新劇研究會生る

朗かに笑わう

井上・大塚兩氏が乘出す

勝戦に張切る

新劇研究會生る

不景氣といふ聲

鐵骨は寒せう

仕上らない建物

不景氣が来る！

湖を賣つた  
話のつづき

不景氣といふ聲

その諸相はとこまぐ

# **NOTICIAS DO BRASIL**

Diretor-Interino e Proprietario: SEISAKU KUROISHI

Fundado em 1917

**Redação, Administração e Oficina: Rua Caramuru, 63 — Telefone, 2-2837 — Caixa Postal, 3148 — São Paulo**

N.º 2.778

---

ANO XXXII

SÃO PAULO, Sexta-feira, 8 DE OUTUBRO DE 1948

Circula às Segundas, Quartas e Sextas

# A "CIDADE PAULICEIA" —

## **Elevada á categoría de Municipio**



（創立者エゼキエル・デヨアキミー・デオリベイ

生率の「一伯人が居る、即ちエゼキエル・ジョアキン・デ・オリベイラ氏」がその人である。例令出生の地はルイ・バルボア・カストロ。アルベスを生んだ北山であるとはいへ同じアルベルトである。アンシンエット及ノーブレガによつて創立されたサンパウロの無限の沃地に着目した彼は大なる希望と決意を以て此の地に止まつたのである。

州に止まつた彼は各方面を視察研究の結果パラナ河沿岸の一角に日羽の矢セ立てそこに彼の事業は開始される事になつたのである。

非凡なる洞察力をを持つエゼキエル・デ・オリベイラ氏は先づ此の僻地に迷途に都市建設の必要

購入し直建築を開始する有様である。

土地購入者の續出に同氏の先づ舊式にして不完全な交通施設による不便を痛感し先づ一大飛行場を建設すると同時に市街中心地より四キロを距るバラン河の支岸にパウリセイア港の土港を開港せんとするが爲は更に一段と活氣を呈して來たのである。尙ほ陸路の運輸方面でも考慮し隣の植民地との通商計り、一般住民の富民地とも計つてゐるのである。

現在パウリセイア市は地の創立者である不撓の道筋の改築をも計つてゐる。

力家エゼキエル・デ・オリベイラ氏の努力により多數の住宅、店舗、飼料倉庫、學校

地の郡制昇格 提案は遂に  
州議會に於て承認された公  
報が附らされたのであるが  
此の地方の一般住民はも右  
の諸氏の意力に對しては衷  
心より感謝の意を表してゐ  
るところである  
一九四八年九月十日—此の  
日州議會に於ては去る四月  
マリオ・ベニ託員に依り寫  
眞調査書並にその他一書類  
を添へて提出されたばなり  
セイアム府地の郡制昇格以  
來に對し万方一致以致いつ  
てパウリセイアの住民達が  
彼等の長年の希望を實現す  
る爲に現地に於て郡昇格を  
要決する権利が賦與された  
のである、即ちパウリセイ  
ア市街地に歸かしき現状は  
當初に於て認知され創立者  
エゼキエル・ヤロアキン

條項に準據し提出されたるルセニア郡管轄地ベラリセニア住民の全地郡並格中請書は本年四月廿九日州議會で受付けられ議會委員會議事録に登録されたが右は五月四日發行の「議會日報」に公表された通りである

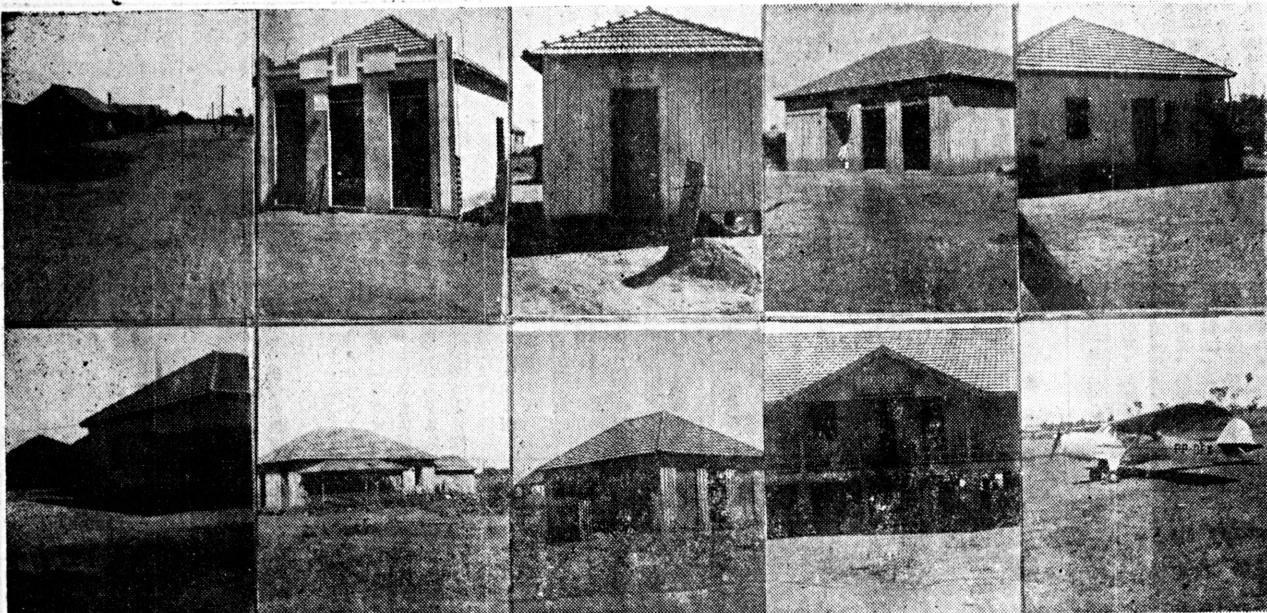
重要なる前哨地

# バウリセイア市街地 郡政昇格遂に成 自治制の承認により將來の大躍進は約束され、同時に 重要な前哨地區となる

は、区域となるを認めその實現によつて、ブッダル人の偉大なる實力と實證によつて八方に併せさんとしたものである。一度パリセイア市園地の計画成るや俄然各方面に多大の反響を呼び起し、又土地購入を希望する者甚多となり短期間にしらずこの沃地の植民事業はいよいよ現実化されて來る」のである。

一 郵便局、警察駐在所その他の多くの近代施設を有する。右の如き驚異的發展を遂げたる地に今回随筆マリオ。地に更に今回随筆マリオ。ベニ、クニア、ブエノ、カストロ、カルバーリョ、ベカラ・リーマ、ザヨビアーノ、アルビン、ボルフィーヨ・ダ・バスの諸氏並にマリリア市議の有力議員下の献身的努力により當市街の實力開拓と不屈のアラジルである。

デ・オリベイラ氏の永年の努力開拓と不屈のアラジルは遂に實を結ぶ日が來たのである。



## ( パ キ リ セ イ ア 港 と 遊 観 船 )

オリベイラ土地會社

本社 マリリア市驛前通り五六番地

支社 ロンドリーナ市セルジベ街二九四番地

(廣告)

(PARECER N.º 1092 DA COMISSÃO DE ESTATÍSTICA DA ASSEMBLÉIA)

卷之三

對する決議會を開催する  
統計委員會會議室  
一九四八年九月四日  
ガヨビアノ・アルビ

ナリセア・管轄地（議會  
是認の附錄地圖（示す）  
右決議文第一二號並に意見  
ベララ・リーマ  
ビセント・デ・ベララ  
リーマ

に都合減税（一九四七年九月十八日實施）第一條  
一九四八年九月三日  
起稿者  
デシオ・ケイロス  
ブエノ